

子供

の頃...

希望と期待に

満ちた

将来を夢見て

いましたか？

しかしその後

人生に予想外の

転機が訪れ、

自分の夢を



断念せざるをえなくなったの
ではありませんか？

さあ、**新しい生活**を
始める準備は
できていますか？

ソロプチミスト女性に機会を与える賞

「ソロプチミスト女性に機会を与える賞」は、有利な就職を目指し、教育と技術の向上に励む女性に、必要な資源を提供するものです。主として一家の生計を支えながら、職業・技術訓練課程あるいは大学の学士課程に在学中、もしくは入学許可を得ている女性が対象です。

19の国・地域にあるソロプチミストクラブは毎年、個人的困難を克服し、技能訓練や教育を通じてよりよい生活を目指し、努力している女性たちを支援しています。受賞者は、賞金を、教育を受ける努力に関連した費用（書籍代、保育費、交通費など）を賄うために使うことができます。プログラムは、各地域のクラブ・レベルで始まり、賞金額はクラブによって異なります。クラブで賞を受けた応募者は、さらに大きな地理的区分であるリジョン（28リジョンあります）の賞の審査対象になります。現在、各リジョンは、リジョンの最優秀賞受賞者に5,000ドルを授与しています。（注：多くのリジョンは、最優秀賞以外にも3,000ドルの賞金を授与しています。）28リジョンの最優秀賞受賞者は、国際レベルの賞の審査対象となり、このうち3名に10,000ドルの連盟最優秀賞が贈られます。

パチャラさんは、家庭内暴力を生き延び、気が付くと異国の地、日本でたった一人で幼い3人の子供を養育しなければならなくなっていました。彼女は日本語の読み書きができるようになるために勉強中で、ホームヘルパー（介護師）としてのキャリアをめざしています。



ファースト・フード・レストランで稼いだ最低賃金で母子家庭を支えていたベギーさんの人生は、大学を卒業し、本を出版し、講演者として生計を立てるまでに変わりました。



母子家庭で5児を養っていた**キャッシーさん**は、生活保護を受け辛うじて生き延びていました。現在キャッシーさんは歯科衛生師兼小事業主となりました。



グアダルーペさんは若くして結婚しましたが、異国での結婚生活は暴力に満ちたものでした。2児のシングル・マザーであるグアダルーペさんは、先日博士課程を修了し、他の女性を虐待から救い出す支援をしています。



マリーナさんは、マラソンに出場して獲得した賞金で苦勞しながら家族を養っていたシングルマザーでしたが、現在は体育の学位取得に励んでいます。

